

がん検診について市としての今後の方向性

1. 神戸市が行うがん検診の項目について

- ・原則として、神戸市では国が「有効性の確立した検診」と評価したがん検診項目を実施する

2. 重点的に個別受診勧奨すべき対象について

- ・胃がん、大腸がん、肺がん検診については 50～60 歳代を重点対象とする
- ・乳がん検診については 40～50 歳代を重点対象とする
- ・子宮頸がん検診については 20～30 歳代を重点対象とする
- ・職域と連携をしたがん検診受診対策を進めていく

3. がん検診の精度管理について

- ・がん検診システム台帳を整備する
- ・国保加入者のがん検診受診率を把握する
- ・乳がん検診（個別検診）について精度管理体制の構築と、乳がん検診（個別検診）、肺がん検診と大腸がん検診について精密検査未受診者に対する受診勧奨を行う
- ・検診結果返却文書（大腸がん検診、胃がん検診、乳がん検診（集団））の内容の見直し

4. がん検診の効果的な広報や受診勧奨について

- ・懇話会のご意見や国や他自治体の好事例を取り入れ、より効果的な広報を推進していく
- ・重点的に受診勧奨すべき対象にコール・リコールを含めた個別受診勧奨を行う
- ・教育委員会に協力し、がんに対する正しい知識が身につく「がん教育」を推進する
- ・がん患者や企業等との連携による受診勧奨をより進めていく
- ・ピンクリボンやリレーフォーライフ等の神戸開催のがん啓発イベントを支援する
- ・市民に対するがんの講演や教育を推進し、がんについての正しい知識（がんの治療技術が向上していること、早期発見すると治癒率が高いこと等）が得られる機会を作る

5. 広報や受診勧奨以外のがん検診受診率向上のための対策について

- ・市民にとってわかりやすく利便性の高い場所への検診車の配車を推進する
- ・特定健診と複数のがん検診を同日に受診可能とするよう検討する（健康ライフプラザ等の活用）
- ・検診実施事業者と調整し、集団検診で空きがある場合には事前申し込み不要であっても受診できる会場を増やしていく